

VMware vRealize Log Insight

VMware 環境に最適な自動ログ管理

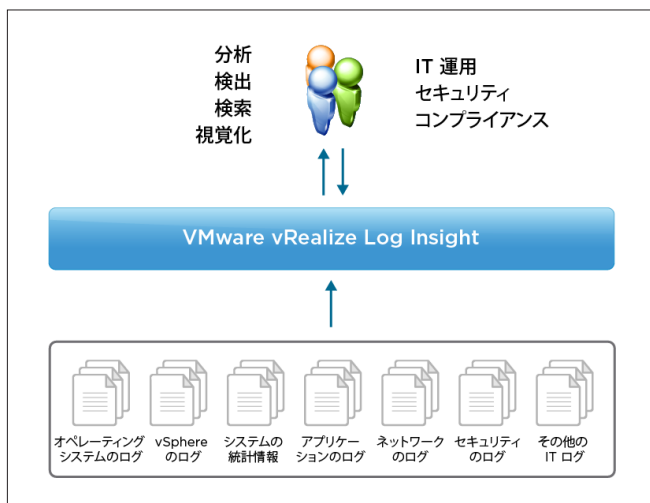
概要

VMware® vRealize™ Log Insight™ は、リアルタイムでの VMware 環境のログ管理機能を提供します。また、機械学習によるインテリジェントなグループ化、高性能な検索、および物理環境、仮想環境、クラウド環境にわたるトラブルシューティングの向上が可能になります。

統合型のクラウド運用管理アプローチによって、ハイブリッドクラウドのような動的な環境でサービスレベルと運用効率をプロアクティブに管理するために必要とされる、インテリジェントな運用とエンタープライズ環境全体の視認性を提供します。

主なメリット

- **主要ソリューションと比べて 6 倍以上高速**：最近行った内部テストでは、1 億件のログメッセージに対するクエリテストを実施したところ、Log Insight は主要ソリューションと比べて 6 倍以上高速であることがわかりました。また、バージョン 2.0 では、1 秒あたりのメッセージの収集率が 30 % 向上しました。
- **直感的で使いやすいグラフィカルインターフェイス**：シンプルな対話式的検索が可能になり、詳細な分析用のクエリから状況を簡易表示できます。また、簡単にその価値を活用でき、IT の運用効率が向上します。
- **VMware 環境への最適化**：VMware vSphere に関する知識を組み込みで活用でき、ネイティブにサポートするように設計されています。



直感的で使いやすいインターフェイスで、マシンが生成するあらゆる種類のログデータを分析

ビジネス上の課題

IT 部門は、動的な環境にあるインフラストラクチャおよびアプリケーションのサービスレベルを維持することに、常に注力しています。しかし、仮想インフラストラクチャと物理インフラストラクチャを別々に管理する場合、問題が発生してから対応することになり、責任を押し付け合う結果となりかねません。

さらに、マシンが生成するログデータは非常に量が多く、取得や管理が困難です。そのため、従来のツールでは、ログやその他のデータを戦略的に活用した IT インフラストラクチャの問題の分析や、トラブルシューティングができませんでした。

従来のツールや問題解決方法では、根本原因の特定に時間がかかるため、スタッフの負担が増え、処理も複雑になります。その結果、運用効率が低下し、コストが増加します。

適切なツールを使用せずに、IT のポリシー、セキュリティ、および規制要件のコンプライアンスを遵守することは困難で、監査の準備や対応にも時間がかかります。

従来のログ管理ツールの問題点

従来のログ管理ツールは、次のような理由でハイブリッドクラウドのような動的な環境には適していません。

- マシンが生成するログデータは非常に量が多く、取得や管理が困難なため、従来のツールでは、ログやマシンのその他のデータを戦略的に活用して、IT インフラストラクチャの問題分析や、トラブルシューティングを行うことはできません。
- 仮想インフラストラクチャと物理インフラストラクチャを別々に管理する場合、問題が発生してから対応することになり、責任を押し付け合う結果となりかねません。
- ほかのログ管理ソリューションを vSphere 環境で使用するには、新たにソフトウェアの追加が必要になる場合があります。また、常に最新のバージョンがサポートされているとは限りません。

ソリューションの概要

VMware vRealize Log Insight はこれらの課題に対処し、サービス品質と運用効率を向上させ、コンプライアンスを維持します。

vRealize Log Insight の主な機能

- マシンが生成するあらゆる種類のログデータを収集して分析します。これには、アプリケーションログ、ネットワークトレース、構成ファイル、メッセージ、パフォーマンスデータ、システム状態のダンプファイルなどが含まれます。
- 管理者は、オペレーティングシステム、アプリケーション、ストレージアレイ、ファイアウォール、ネットワークデバイスなど、環境内のすべての要素に接続できます。これにより、大規模環境のログの収集、格納、分析を中央から実行できます。

- 直感的な GUI ベースのインターフェイスが提供する機能により、インタラクティブな検索や詳細な分析クエリを実行して、実用的な情報をすぐに確認できます。
- 新しいクラスターテクノロジーの採用により、ログ分析を新たなレベルに引き上げます。
- データは自動的に最適な形式で可視化されるため、運用担当者は貴重な時間を節約することができます。
- すべての種類の構造化されていないログデータを構造化することで、事前にデータについての知識がなくても、管理者はトラブルシューティングを行うことができます。
- リアルタイムの監視、検索、ログ分析機能と、ダッシュボードを使用したクエリの保存、レポート作成、アラート機能を併用することで、ハイブリッドクラウド環境の複数の階層全体でイベントの関連付けを行うことができます。
- 新たに追加されたインテリジェントなグループ化機能によって、仮想インフラストラクチャの問題を検出できます。これは、関連するデータをグループ化して問題を迅速に検出できるようにする、機械学習テクノロジーです。
- vSphere と、View™、vRealize™ Operations、vRealize Automation などのその他の VMware 製品の情報が組み込まれ、これらをネイティブにサポートしています。
- VMware Solution Exchange で、VMware およびサードパーティ製の拡張機能を入手できます。
- vRealize Operations プラットフォームとの連携により、ログファイルなどの構造化されていないデータを、メトリックや KPI などの構造化されているデータに変換することができ、End-to-End の運用管理機能が大幅に向上します。

ビジネス上のメリット

vRealize Log Insight により、IT 部門に次のメリットがもたらされます。

- 強力な直感的な使いやすいインターフェイスによって、価値を実現するまでの時間を短縮できます。
- トラブルシューティング時間と平均修復時間の短縮や、マニュアル作業の低減によって、運用コストを削減し、運用効率を向上させます。
- データ量に制限がなく、ピーク時の使用量や最も厳しいシナリオを想定したライセンス購入の必要がない、一定の価格モデルを採用しています。
- vRealize Log Insight と vRealize Operations を併用することで、業界先進のツールを活用して運用管理を大幅に向上させ、投資回収率 (ROI) とソリューションの価値を最大化することができます。



vRealize Log Insight と vRealize Operations を組み合わせた包括的なクラウド運用管理ソリューション

バージョン 2.5 の新機能

- ロールベースのアクセスコントロール
- ユーザーインターフェイスの日本語化
- Linux 対応のフレームワークによるインベントリデータとの連携
- 内部ロードバランサによる拡張
- リアルタイムのダッシュボードプレゼンテーションモード

詳細情報

vRealize Log Insight の詳細情報については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vcenter-log-insight/>
VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、VMware vRealize Log Insight のドキュメントを参照してください。

